

山の日情報

(第 24 号)

令和元年10月15日

秋田県生活環境部
自然保護課

【活動記録】

9月21日に馬場目岳において、今年最後のボランティアによる整備作業を行いました。今回の作業は馬場目岳避難小屋の外壁塗装です。秋田南高校山岳部と社会人山岳会を合わせ、合計34名の方々にご参加いただきました。年齢層も最も若い高校生から中堅、そして山の大ベテランの方々まで、本当に幅広い年齢層による整備作業となりました。

出発地である旭又登山口から馬場目岳避難小屋までのコースタイムは、標準で2時間30分の長丁場ですが、参加者の皆さんが積極的に荷揚げを分担してくださり、予定よりも早く避難小屋に到着することができました。

↓ 塗装前の避難小屋

塗装前の避難小屋は、右の写真のような状態で、外壁の木板も乾燥しているように見え、少しくたびれた印象です。



ここから、皆で塗装作業を進めていきます。より楽に塗装できるように、二階の窓から塗装したり、塗料をハケにつけ足したりと、工夫を凝らします。塗り残しがあると周囲から、厳しい(?)指摘が飛び、そのおかげもあってかなり完成度の高い塗装になったと思います。



↑ ハケを使って塗装



↑ 高所は継ぎ柄を使用



↑ 塗装後の避難小屋

作業後は昼食をとって片付けを行い、最後に避難小屋の前で記念写真を撮って下山しました。何グループかに分けて撮影しましたが、参加者の皆さんの熱気のためか、カメラのレンズが曇ってしまい、一部の写真が見つらいものとなりました。申し訳ございません。(なお、一部写真に入られていない参加者の方もおられます。御了承ください。)



最後になりましたが、今回の作業に先立ち、地元の山岳会の方々が避難小屋に向かう登山道の刈り払いを行うなど、きれいに整備してくださいました。元より整備された登山道ではありますが、より登りやすく、作業の負担軽減につながったと思います。この場を借りてお礼を申し上げます。

今年度のボランティア事業は今回で終わりとなりますが、この事業を通して、普段何気なく使用している避難小屋や登山道、トイレ、休憩所などの施設は、様々な方の努力があって維持されていると実感することができました。ボランティア事業は来年度も続けていきたいと考えていますので、機会がありましたら、ぜひまたご参加ください。

(参 加 者 の 声)

当日は天気にも恵まれ、晴れやかな気持ちで自然豊かな馬場目岳のボランティアに参加しました。協力して資材を運び、ペンキで山小屋を塗るという貴重な体験をさせていただきました。ボランティア活動をしていく中で達成感と充実感を味わい、とても良い経験ができたと思っています。参加者の方々から差し入れをいただいたり、優しく声をかけていただいたりして、心温まる瞬間もありました。山岳会の方との交流から山ならではのつながりを感じ、山の知識を教えてもらうなど話も弾み、楽しい時間を過ごすことができました。

いつも当たり前のようにコースを歩いて、山小屋を利用していますが、それらが整備されていることは、多くの方々が支えているからだと改めて感じました。これからも山への感謝の気持ちを忘れずに、山の素晴らしさを伝えながら、山岳部員として登山競技に邁進していきます。

(秋田南高校山岳部)